

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校評価表作成について変更した点は朱書きしています

達成度(評価) A:十分達成できている B:おおむね達成できている C:やや不十分である D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・学力の向上に向けて、教員の意識・実践は高まっているが、結果としての児童の十分な学力定着には至っていない。校内研究の新たな取組視点(教科等)を考えていく必要がある。

2 学校教育目標 心と智恵と技をとぐ上峰っ子の育成

3 本年度の重点目標
①児童の十分な学力定着に向けて、校内研究の新たな取組視点を共通理解・共通実践し、日々の授業において授業改善を行う。
②「いじめの早期発見・早期対応」に向けて、再度いじめの定義を全職員で共通理解し、アンケート・児童観察等をもとに積極的認知・指導に取り組む。「不登校児童」については、学校・家庭・関係機関の連携を軸に支援を進めていく。
③「気になる子、配慮を要する子」に関する教職員の専門性を高め、チーム上峰として職員全体で共通理解した適切な支援へと繋げる。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組 評価項目 取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 進捗度(評価) 進捗状況と見通し 達成度(評価) 実施結果 評価 意見や提言 主な担当者

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組 評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組 進捗度(評価) 進捗状況と見通し 達成度(評価) 実施結果 評価 意見や提言 主な担当者

5 総合評価・次年度への展望
・学力の向上に向けて、教員の意識、実践は高まっているが、結果としての児童の十分な学力定着には至っていない。校内研究の新たな取組を考えていく必要がある。